

内閣総理大臣 岸田文雄 殿  
内閣府特命担当大臣（少子化対策） 小倉将信 殿  
厚生労働大臣 加藤勝信 殿

**70年以上改善がない4・5歳児の配置基準は  
先進諸国の中でも最低のレベルです。**

**子どもたちのために保育所等の職員配置基準を  
今すぐ改善してください！**

政府は、2023年4月に「こども家庭庁」を創設し、こどもに関する取り組み・政策を社会の真ん中にすえて、その充実・推進を図り、将来的に関連予算を倍増するとしました。しかし2023年度予算（案）は前年度予算比わずか2.6%増にすぎず、2023年6月に明らかにするとした予算増の道筋についても、未だ具体的な内容は見えません。少子化の進行が深刻な今こそ、就学前保育・教育予算を国際的な水準まで引き上げ、保育・子育て施策を拡充することが緊急に求められています。

特に、保育所等の職員配置の国基準は、国際的にも貧しすぎる劣悪なものです。現在4・5歳児30対1（子ども30人に保育士1人）、3歳児20対1、1・2歳児6対1、ゼロ歳児3対1となっていますが、4・5歳児の配置基準は1948年の制定以来70年以上、1・2・3歳児の配置基準も50年以上改善がされていません。保育現場の実態に見合わない現在の配置基準では、子どもの発達保障はおろか、安全さえ守れない恐れがあります。

国の基準以上の職員配置を独自にすすめている自治体や施設も多くありますが、そうした努力にも限界があります。国として必要な財源を確保し、今すぐ配置基準の改善に着手してください。

#### 要望事項

##### 1. 子どもたちのために保育所等の職員配置基準を今すぐ改善してください。

氏名	都道府県

Web署名とあわせて宛先に届けます。  
Web署名(Change.org)はこちら↓



アンケートにもご協力ください↓  
「あなたがのぞむ保育士配置基準」

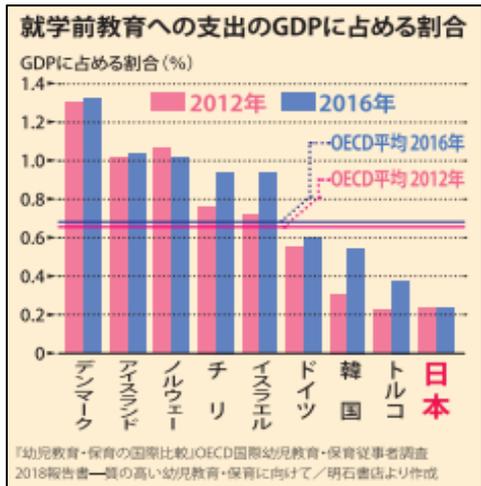


取扱い団体：よりよい保育を！実行委員会

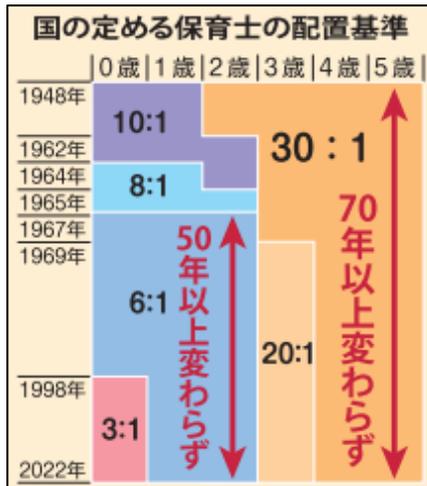
連絡先：全国保育団体連絡会 〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 ☎03-6265-3171/FAX03-6265-3230

署名期限：第一次集約2023年4月20日/最終集約2023年5月20日

●保育・子育て予算が少なすぎる！  
もっと子どもにお金をかけて！



●日本の配置基準は  
ずっと変わらず！



岸田首相は 2023 年6月の経済財政運営の基本方針(骨太方針)で、2024 年以降の予算増の道筋を示すしましたが、具体的な取り組みや政策については何も明らかにされていません。

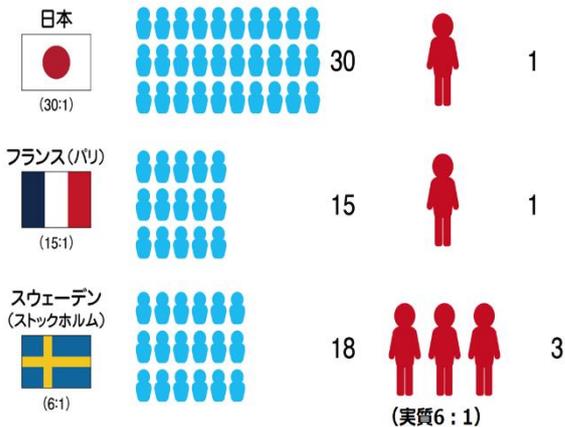
少子化の進行が深刻な今こそ、保育・子育て予算を大幅に増やし施策の拡充が必要です。

4・5歳児の配置基準は、制定以来70年以上改善がされていません。小学校では2021年に40年ぶりに配置基準が改善されて少人数学級化がすすみ、1学級あたりの児童数平均は22.7人(学校基本調査概数)になっています。

諸外国の4・5歳児の配置基準は、パリ市(フランス)は子ども15人に1人以上、ストックホルム市(スウェーデン)は1クラス最適人数14人(上限18人)に3人を標準としています。『機能面に着目した保育所の環境・空間に係る研究事業 総合報告書』2009.3。

日本の貧しい配置基準は、不適切保育の要因の一つともいわれています。

●4・5歳児の配置基準の国際比較  
日本は保育士1人あたりの子どもの数が多すぎる！



●3歳児の配置基準(子ども20人に保育士1人)は  
50年以上改善なし！  
保育士の頑張りも限界です！



3歳児は、食事、排せつ、着替えなどを保育者といっしょにしながら、子どもが自分のできるようになっていく大切な時期。しかし保育士1人で、一人ひとりの子どもの思いを大切に、ていねいにかかわりたいと思っても、この状態ではとても難しいといわざるをえません。

2015年、子ども・子育て支援新制度施行に際して、3歳児を中心にした配置基準の改善等に必要な財源を、消費税財源を含めて確保することを約束していましたが、2019年に消費税を10%に引き上げたにもかかわらず配置基準の改善は実現していません。

今すぐ、配置基準の改善で保育士の増員を！

(出典:子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会)